

は單に指導部に結合を求めればかりでなく大衆の中へピラ傳單を
廣く持ち込み又演說會その他の大衆的集合工場に肉つてデモを行
ひアデブローし一人でも多くの労働者を吾々の味方としなければな
らぬ又労働者がケツキせる場合は農民として又農民組合としてそ
の代表者を争議團へ送り込み争議基金ヲ出シ職員等出来る限り
の援助と支持を忘れてはならぬ。原則的には労働者によつて吾々
農民は指導される可きであり指導されてゐるが(支那階級の絶之闘
なき彈壓は)一時として工場飯山の組織を余す處なく破壊する
かゝる時には労働者の組織援助も亦吾々の任務の一つである無産
階級の共同敵資本家地主打倒の闘争は全國の労働者農民がカツテ
りと團結した時に吾々の勝利となるのだ。

右列農民組合に對する件

(北九州地區提出)

日本農民組合の情勢

日本農民組合幹部の指導が徹頭徹尾地主擁護のためであることは

彼等の行動がこれを證明するその一例として大年度九州聯合大會
に於ける秋季闘争方針の決定に「今年の波克闘争は各支部で勝手に
にやれ又個人でやつてもよい」と自由行動を決議し團結を亂して
闘争力を弱めてゐる又日農の組合員には本い闘争部の獨裁的指導
によつて幹部一任主義が深くささみ込み幹部に對する彼等が非
常に強くそのために一切の問題を幹部にまかせ大衆行動の威力を
知らず小作米波克の如きも幹部の言ふまゝして不生ブレヨウ承諾し
てゐる有様だ爾し近時の激化を加へて(闘争とインフレーション
政策は益々農民大衆の波克の度を深め今では農村救済のギマン政
策も効をまざる各)右列農民組合のフアツシヨ指導をのりも越へて
大衆(正し)全國會議の指導の下に實農独自の闘争を展開しよ
うとしてゐる。日農中原支部も全國會議である吾等生に解讀して
了つた

北豊前農民組合の情勢